

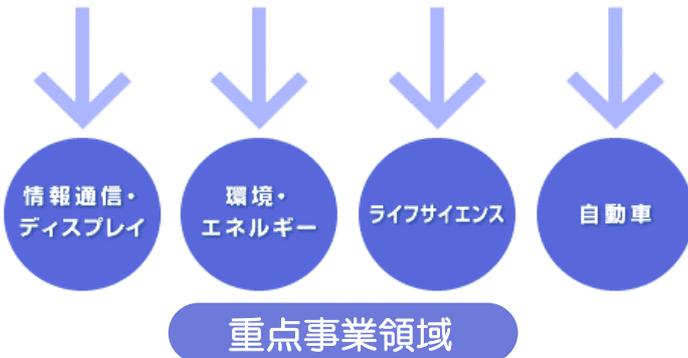
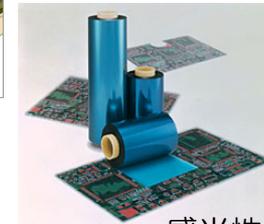
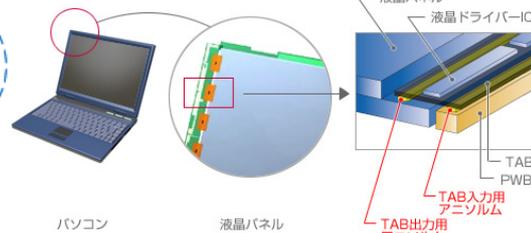
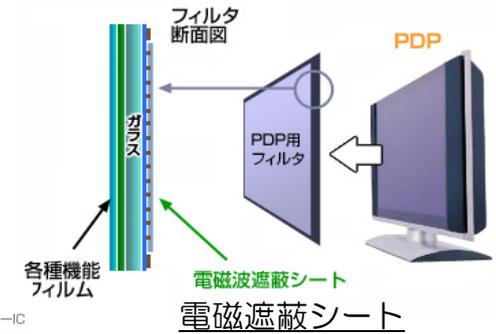
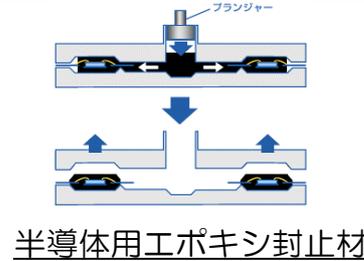
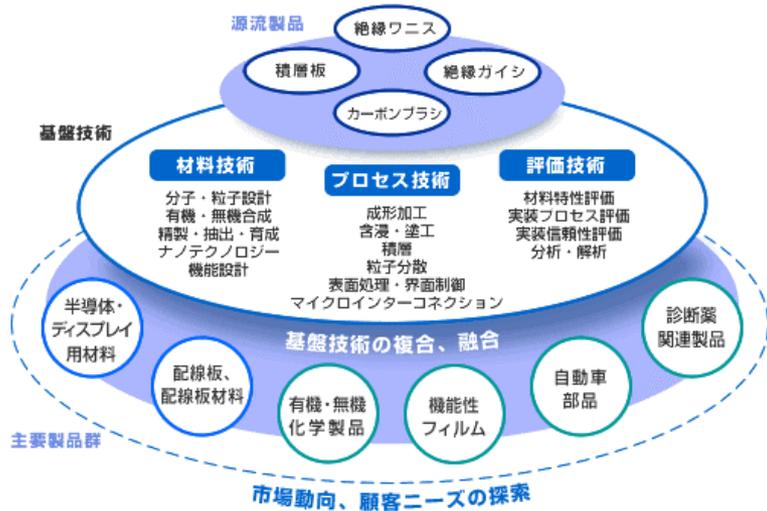
対談 実践SOA

# 日立化成の取組みとこれから

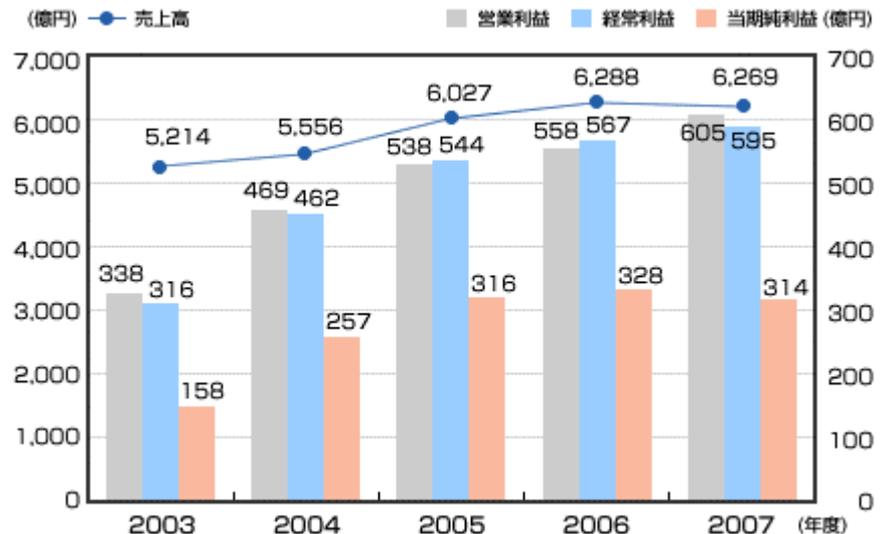
2008年11月18日

# **これまでの業務改革と システム開発の取り組み**

# 当社ビジネスの特徴



- お客様の要望、悩みを起点とする技術開発
- 変化するご要求に徹底追従



2000年前後の  
問題意識

製造間接  
業務増加

工場毎  
独自CIM化

情報技術  
の革新

30年前の  
システム

eビジネス  
の進化

SCM

モノと情報の全社同期化

- (1) SCMLレベルの見える化と共有
- (2) To Be に仕事を合わせる改革

- (1) 全社統合システム開発
- (2) Javaによるモジュール開発
- (3) Web化
- (4) 応答速度改善  
(後に問題点として浮上)

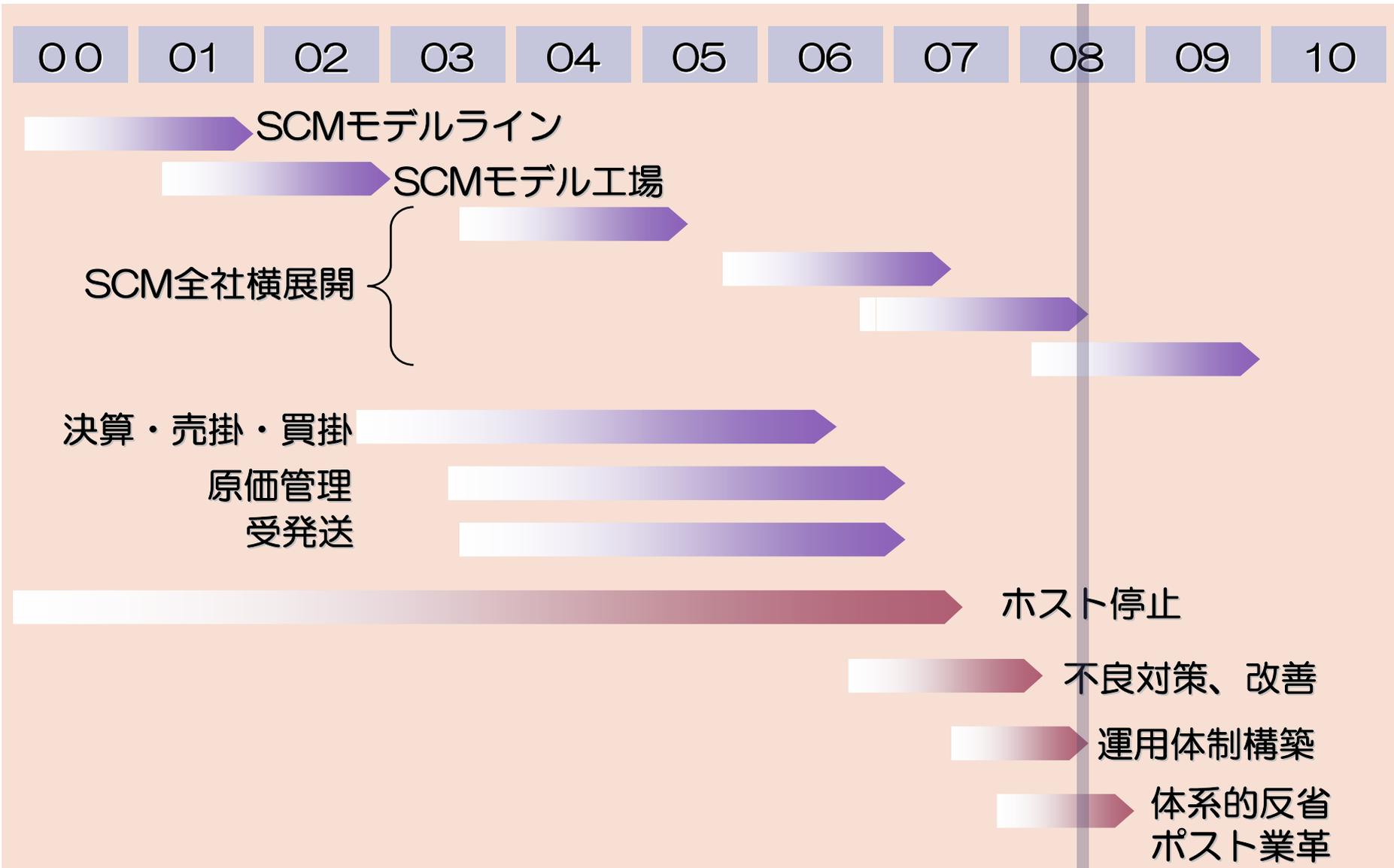
脱ホスト

基幹システム再構築

- (1) 既存ビジプロの踏襲と可能な限りの改善
- (2) 顧客、特約店等の直接入力拡大

- (1) スクラッチ70%  
パッケージ30%
- (2) モジュール化
- (3) Web化
- (4) アウトソーシングによる保守運用体制構築

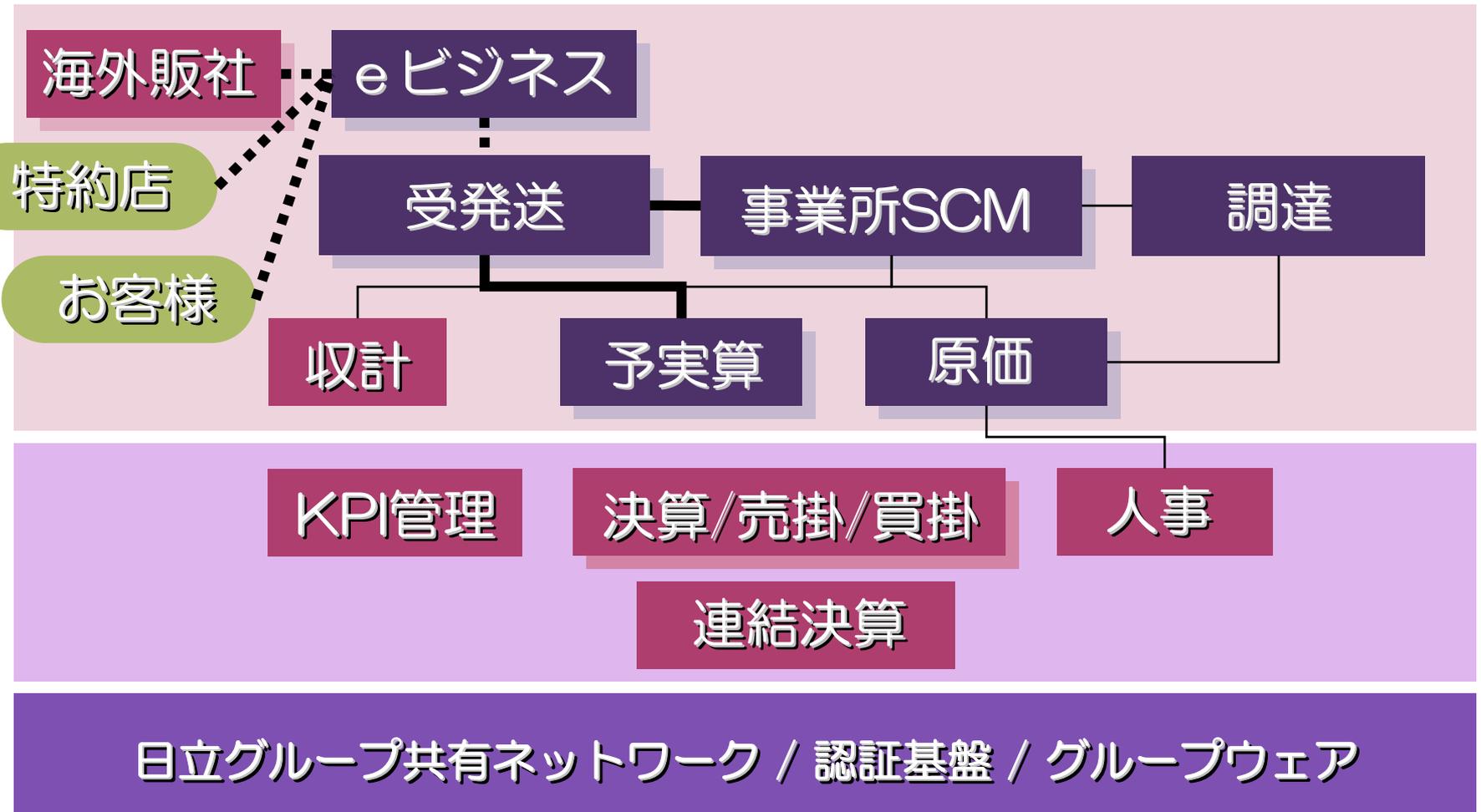
変化対応  
基盤へ



# システム構成

開発スタイル(影付は新規)： ■ スクラッチ開発 ■ パッケージ/ASP活用

連携速度： — 数分 (メッセージ交換基盤)    ... 30分以内(バッチ)    — 日次(バッチ)



# TCO最大化の運用戦略

比較項目	スクラッチ開発	パッケージ開発
ソースコード	● 所有できる、改変できる	所有できない、改変できない
開発、導入期間	長い	● 短い
初期不良	多い	● 少ない
グローバル化	困難 (特に日本で開発されたもの)	● 容易 (設計当初より折込済)
改造(改善)の難易	● 容易、安価	時間がかかる
保守料	● 実費、原価低減できる	契約に基いた保守料の支払い マイナーチェンジ無償
製品寿命	● 開発言語の寿命と同等 ≒ 30~40年以上	減価償却期間+ $\alpha$ ≒ 5~10年程度



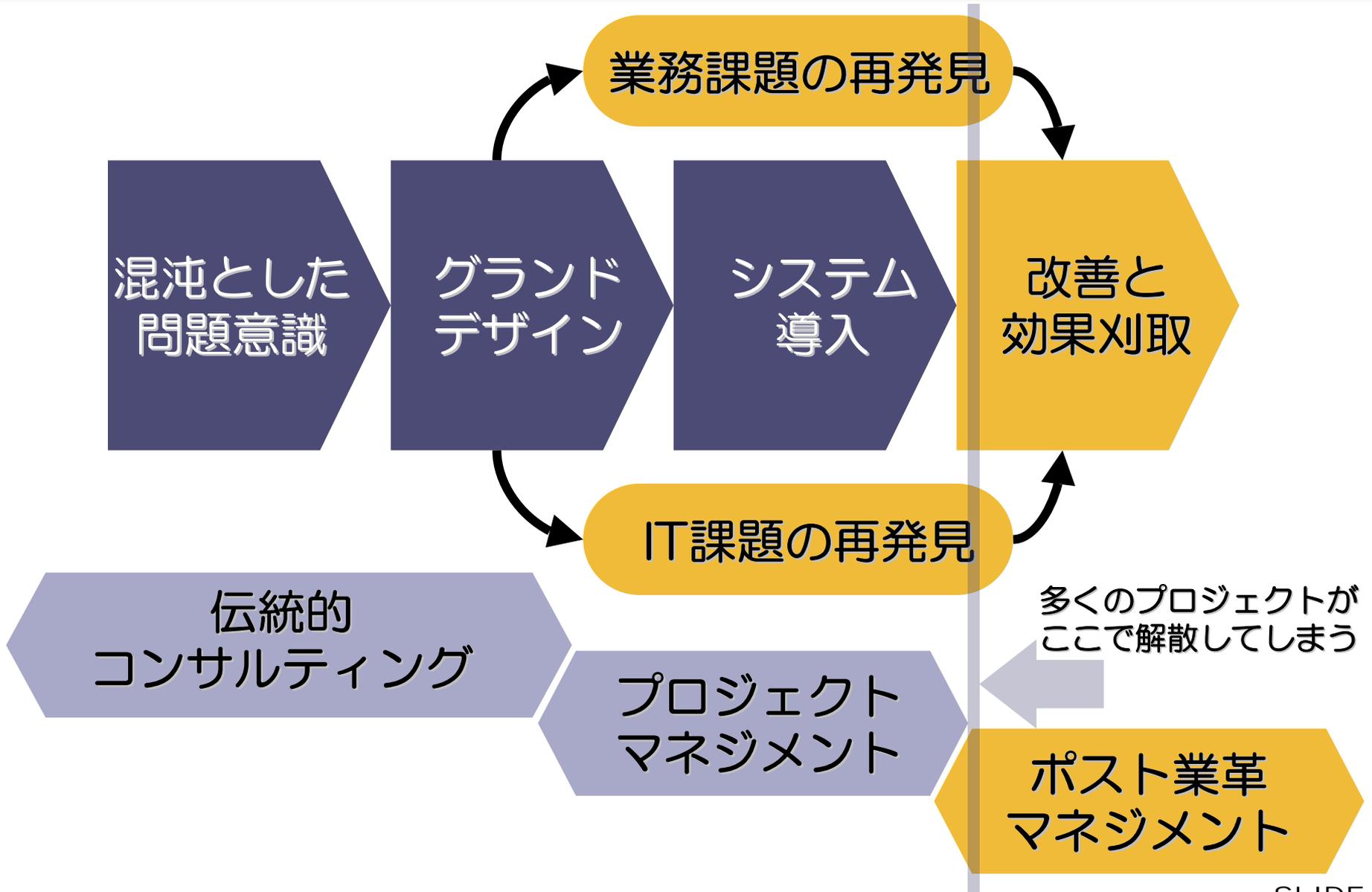
TCO : Total Cost of Ownership

TCO最大化の 運用戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 30~40年の長期運用</li> <li>・ 継続的改善</li> <li>・ 継続的保守費低減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 短期導入</li> <li>・ 5~10年での大型更新を前提とした最適規模選択</li> <li>・ 改造範囲の最小化</li> </ul>
-----------------	--	---

# これまでの成果

成果満足度：(大) ●、●、▲、▲ (小)

項番	期待成果		現状
1	オープン化とアウトソーシングによる費用抑止		▲
2	eビジネスによる高速化と省力化		●
3	Bizプロのシンプル化		▲
4	事業所SCMレベルの均質化と向上		●
5	受注→製造手配→予実算管理のリアルタイム化		●
6	使い勝手向上：帳票の漢字化/電子化、マニュアルレス、一画面化、分析業務のEUC化(Excelダウンロード、開示用DB)など		●
7	管理部門の生産性改善		▲
8	システム共通化、Web化	決算、受発送、原価管理	●
		事業所SCM	●
9	柔軟性 (顧客要求、制度変更、SOX対応、M&A等)		●
10	ITスキル改革(コーディングからマネジメントへ)		▲
11	応答速度改善 (開発後の課題として浮上)		▲



環境変化

- ビジプロの多様化(お客様、制度等)
- 伝票の小口化

受注

伝票1件

受発送処理

HTTPトランザクション  
36件

共通画面  
100に対して

事業所SCM

HTTPトランザクション  
107件

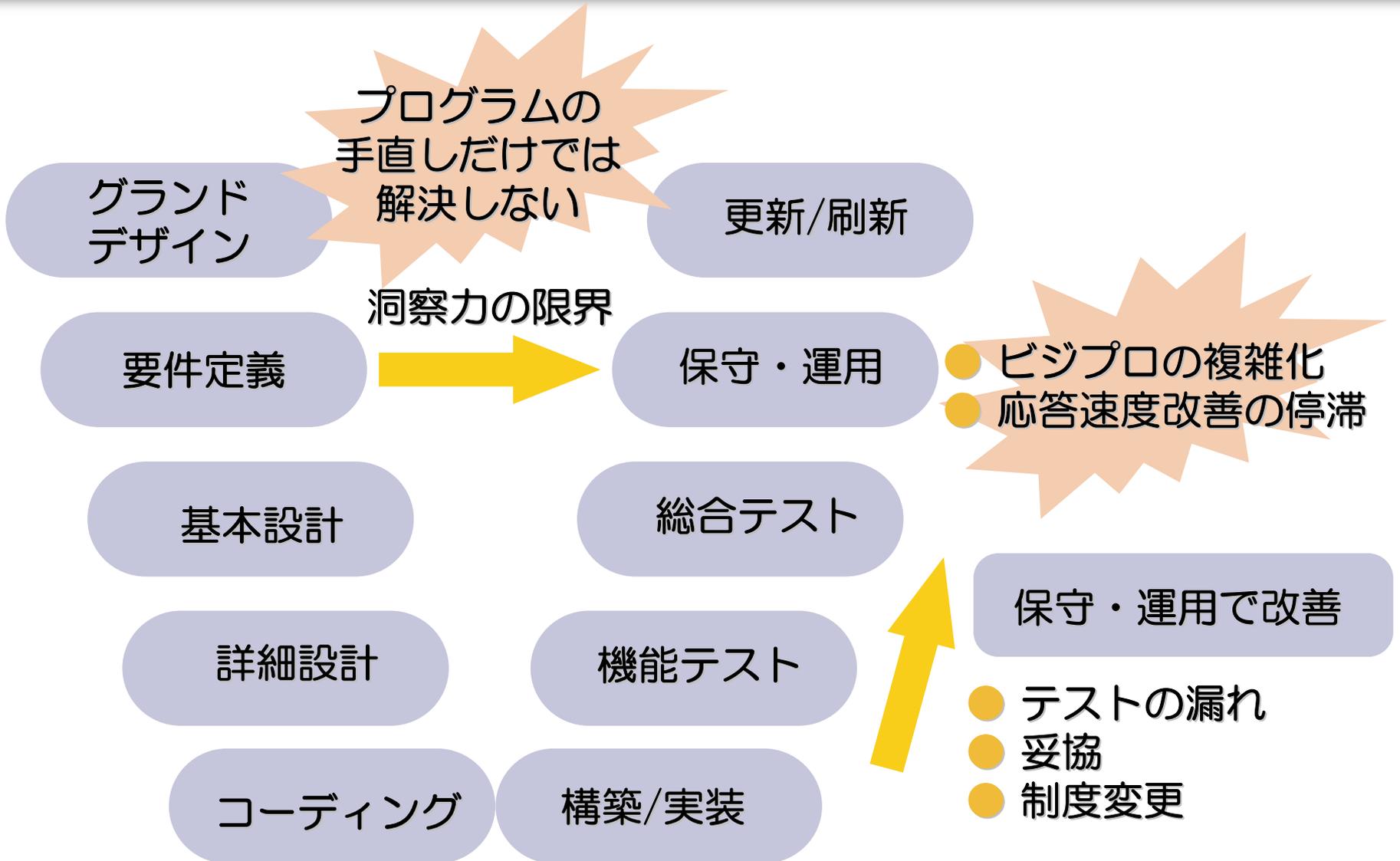
共通画面  
45

個別画面  
425

トランザクション/カスタマイゼーションの爆発的増加

IT課題

- ビジプロの継続的改善体制
- 応答速度改善への戦略的取組み



# ご提案に対する意見

## IT業革観の ステレオタイプ

- 改革母体としてのITシステム
- メガエンタープライズパッケージのトップダウン導入
- 初期デザインが正しいという信念
- システム導入＝業革
- 例外プロセスの排除
- 抵抗勢力の排除

## ポスト業革で 提起したいIT業革観

- 変化対応基盤としてのITシステム
- スクラッチ開発とパッケージの最適モザイク配置
- 初期デザインには間違いもある（神のようなデザインはない）
- 永遠のBPR、永遠の改善
- 保守/運用こそ日々改革の母体

## 推進中の ポスト業革活動

- 業革の事後評価
- 人的ネットワークの再構築
- KPI再設定、継続的可視化
- 継続的BPRとシステム改善

## 期待する コンサルテーション

- ポスト業革型のBPR/SOA
- BPRスコープのピンポイント化
- トライアルによる検証
- 保守/運用マネジメントをBPR/SOA視点で改革

**Hitachi Chemical**  
*Working On Wonders*

**ご清聴ありがとうございました**

 **日立化成工業株式会社**